

(作成年月日) 2024年7月10日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 摂食障害患者における小児期と成人期の入院期間に関する後ろ向き研究

[研究の目的]

摂食障害は小児期(初発)の時点で十分な治療介入を行うことが重要とされています。生命が危険な体重であった場合には入院加療が必要となる重大な疾患です。摂食障害患者では一般に入院期間が長期化するといわれています。成人になると慢性化していることが多く、成人期まで症状を持ち越さないために小児期で十分な治療を行うことが重要とされています。成人期と小児期で入院期間に差があるかどうか検討し、小児期での治療の困難さと重要性を確認することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2019年4月1日から2024年3月31日の間に、摂食障害が主病名で精神科神経科に入院された方

○利用する情報

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、入院期間、入院回数

○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

[研究組織]

例：香川大学医学部附属病院精神科神経科 助教 木戸瑞江

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院精神科神経科

担当医師 木戸瑞江

電話 087-898-5111